

入学式 式辞

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。またご父母、ご関係の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。本日ここに 395 名の学部新入生並びに 9 名の大学院入学者をお迎えして入学式を挙行できることは京都薬科大学の大きな喜びであります。本日のご入学に際し、私からお祝いの言葉を述べさせていただきます。

2020 年が始まってすぐ日本で最初の新型コロナ感染者が確認され、何回かのパンデミックを経てようやく感染は落ち着きつつあります。しかし、感染再拡大の懸念はまだ残っていますし、新たな感染症の出現も懸念されています。21 世紀における科学技術の飛躍的な進歩にもかかわらず、根本的な治療法がない癌やアルツハイマー病などの病気もまだ多く残されています。

京都薬科大学における 6 年間の学びは、このような医療の現実に対応できる薬剤師となるための基礎を作るためのものです。国家試験に合格し薬剤師として社会への貢献を始めるために必要な薬学の基礎から臨床にわたる知識の習得と実践です。これらの学びは、卒業後にも日々更新される学術的知見に対応するための基盤となります。また、学部で得られた知識と経験を学術的にさらに深め、世界に通用する新たな知見を得ることが大学院での学びの目的です。

このような大学での学びは、高校での学びと性質が少し異なります。これまで皆さんが高校で取り組んできた問題には、考え方の筋道や正解がすでに用意されていました。これからの大学での学びでは、答えのない課題に取り組むようになります。さらに、課題解決に必要な知見が得られていない場合も多くあるのです。

このことに関連して、皆さんが高校で学ばれた元素について少しお話いたします。18 世紀に至るまで 2000 年以上信じられていた元素の概念は皆さんが高校で学ばれた元素とは全く異なる疑念でした。例えば、物質が燃える時にはその物質からフロギストンという物質の放出が起こる、と信じられていました。現在では燃焼は酸素との結合反応であるという概念が広く認識されていますが、当時までは物が燃えるとフロギストンが放出され燃焼後は重さが軽くなる、と信じられていたのです。これに異議を唱えたのがフランスのラヴォアジエです。正確な重量測定をもとに、燃焼は空気中の何かの要素との結合をもたらす化学反応である、と主張したのです。なかなか広く認識されませんでした。当時の実験事実を最もよく説明できる考え方として少しずつ認識されるようになったのです。この考え方をさらに発展させたのがイギリス人のドルトンであり、19 世紀初めに現在の原子説のもととなる考え方を提唱したのです。これらの研究が現在の高校生が学ぶアヴォガドロの法則につながっていったのです。これから皆

さんが大学で学ぶ内容に答えがない問題がある、というのはこのような状況に類似した学問領域での課題があるからなのです。あるアイデアに基づく仮説が正しいかどうかを実際に判断するためには実証実験が必要なのです。ぜひ、これからの京都薬科大学での学びで実証実験の考え方を習得してください。その経験は6年後に皆さんが社会にはばたくときに大いに役に立つはずです。

一方で、大学時代は自己の内面に向き合う最適の時期でもあります。勉学はもちろんですが、クラブ活動・ボランティア活動・アルバイトなど様々な活動にチャレンジしてください。海外を自分自身で経験することや、今まで縁のなかったジャンルの読書にトライし新たな認識を得ることで世界の見方を広げてください。大学院を修了した後は、ぜひ海外の研究室を経験し研究に対する多様な取り組み方やお国柄を体感してください。

京都薬科大学の建学の精神は『愛学躬行』(学問を愛し、自ら実践する)です。学部の皆さんはこれからの6年間で、自らの心と体で大学の学びを吸収してください。大学院の皆さんは、学部で経験した研究をさらに深め、新たな学術の進展に寄与する研究に邁進してください。自分なりのやり方で各学年を一年ずつ確実にクリアし、新しい課題に向きあう6年間あるいは4年間で過ごすことで成し遂げられるはずです。本学のすべての教職員はそのための援助を惜しみません。4年後、6年後に皆さんが晴れやかな笑顔で学位授与式に臨まれるときを楽しみにしています。

本日はご入学、誠におめでとうございます。

2025年4月1日
京都薬科大学長 赤路健一